

平成18年度 高冷地水稻生育速報(第3報)

岐阜県中山間農業研究所

1. 生育概況(6月20日)

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	30.6 (98%)	502 (114%)	4.5 (-0.5)	42.6 (+2.5)	7.2 (-0.2)
	前年	29.5	440	4.5	37.5	7.9
	平年	31.2	440	5.0	40.1	7.4
コシヒカリ	本年	34.2 (104%)	477 (109%)	4.5 (-0.4)	40.3 (+0.7)	7.2 (-0.3)
	前年	33.3	342	5.0	39.6	7.6
	平年	33.0	438	4.9	39.6	7.5
たかやまもち	本年	36.8 (109%)	486 (114%)	4.8 (-0.2)	42.7 (+4.0)	7.1 (-0.6)
	前年	29.8	324	4.9	37.5	7.4
	平年	33.7	425	5.0	38.7	7.7
ひだほまれ	本年	37.0 (104%)	397 (106%)	4.5 (-0.3)	40.5 (+3.5)	7.4 (-0.3)
	前年	37.0	406	4.4	37.5	8.1
	平年	35.6	374	4.8	37.0	7.7

栽培条件: 移植5月17日 栽植密度22.2株/m² 1株4本稚苗移植 基肥N=0.5kg/a
 平年値: 過去5年間の平均値
 ()内の数値は対平年値

2. 生育状況と当面の管理

1) 生育状況

気温が比較的高めに推移したため生育量が増加しているが、依然として葉齡に遅れが見られる。いずれの品種も茎数は、平年値を上回り10%前後多くなっている。草丈は、「ひとめぼれ」を除き、いずれの品種も平年値を上回っている。葉色(葉色板)は、全体に平年値よりやや淡いが、次第に濃くなってきており、SPAD値では平年値をわずかに上回る値となっている。

2) 病虫害等の発生状況

「イネミズゾウムシ」及び「イネアオムシ」の食害がみられる。前回調査時に発生した「イネアオムシ」は、一時的に急増したが、その後の増加は収まったようである。しかし、わずかではあるが、新たに「イネツトムシ」が発生し始めている。今のところ「葉いもち」の発生は無いが、カリ欠乏による赤がれ症が見られる。

3) 今後の管理

根腐れにより下葉に赤褐色の斑点が見られるほ場や踏み込むと泡が多く出るほ場では、必ず早期中干しを行い、根を健全化し分けつの促進を図る。早期中干し後の水管理は、間断灌水とする。生育が思わしくないほ場では、追肥をしたくなるが、「ひとめぼれ」や「コシヒカリ」ではいもち病や倒伏の原因となるので、見合わせた方がよい。逆に分けつが旺盛で過繁茂ぎみのほ場では、天候の悪化に伴い「葉いもち」の発生が懸念されるので注意する。補植用の苗は、「葉いもち」の発生源となるので撤去しておくこと。

<参考> 前回調査時(6月13日)の生育概況

品種名	年度	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉色		葉齡
				葉色板	SPAD値	
ひとめぼれ	本年	20.5 (80%)	366 (122%)	4.1 (-0.8)	38.0 (-0.8)	5.8 (-0.4)
	前年	23.0	291	5.1	39.1	6.5
	平年	25.5	299	4.9	38.8	6.2
コシヒカリ	本年	24.0 (87%)	351 (122%)	3.7 (-1.1)	37.0 (+0.5)	5.8 (-0.6)
	前年	27.2	191	4.8	37.4	6.3
	平年	27.6	288	4.8	36.5	6.4
たかやまもち	本年	28.0 (99%)	349 (122%)	4.1 (-0.7)	38.1 (+1.6)	5.7 (-0.7)
	前年	25.5	164	4.8	35.3	6.0
	平年	28.3	285	4.8	36.5	6.4
ひだほまれ	本年	28.0 (98%)	282 (111%)	3.8 (-0.8)	37.6 (+1.7)	6.1 (-0.3)
	前年	27.9	266	4.7	38.5	6.5
	平年	28.5	254	4.6	35.9	6.4

岐阜県中山間農業研究所

TEL 0577-73-2029

FAX 0577-73-2751

<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/k-agri/>